

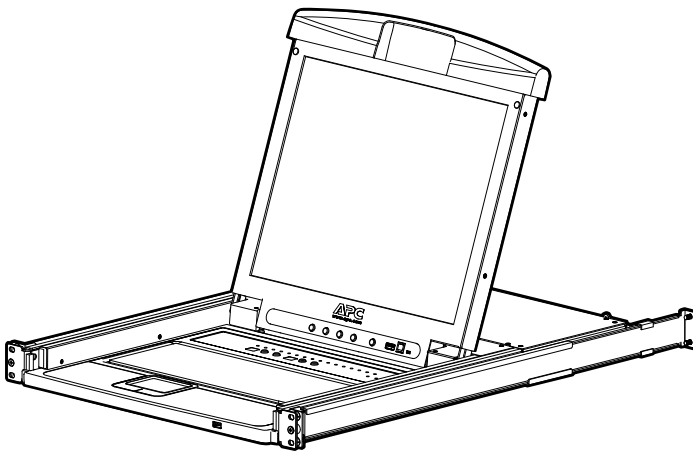


ユーザーズマニュアル

Rack LCD Console

AP5717、AP5717CH、AP5717F、AP5717G、
AP5717J、AP5717R、AP5717UK、AP5719

990-3863F-018
発行日: 6/2022



Schneider Electricの法的免責事項

本書に記載の情報は、Schneider Electric が信頼性、無誤謬性、完全性を保証するものではありません。本書は、詳細な運用およびサイト固有の開発計画書の代用となるものではありません。従って、Schneider Electricは、本書の使用に基づいて生じる可能性のある損傷、法規制違反、不適切な設置、システム障害、またはその他の問題に対する責任を負わないものとします。

本書に記載されている情報は、現状のまま提供され、データセンターの設計・施工を評価する目的でのみ作成されています。本書は、Schneider Electricにより誠意をもって編集されています。ただし、明示的または黙示的に関わらず、本書に含まれる情報の完全性または正確性を表明または保証されていません。

Schneider Electric、またはその取締役、役員、代理人、従業員、会員、親会社、子会社および支社は、いかなる場合も、Schneider Electricがそれらの損害の危険性を明確に助言した場合でも、本書またはその内容の使用または非使用に関連した、またはその結果生じた取引、契約、収入、データ、情報の損失または事業の中断を含むがこれに限定されないあらゆる直接的、間接的、必然的、懲罰的、特別または付随的損害に関して責任を負いません。Schneider Electricは、本書の内容またはその形式に関して、いつでも予告なしに変更または更新を行う権利を有します。

ソフトウェア、オーディオ、ビデオ、テキストおよび写真を含むがこれに限定されない、内容物の著作権、知的所有権、およびその他の所有権は、Schneider Electricおよびそのライセンサーが保有します。本書で明示的に許諾されていない内容については、すべての権利が留保されています。この情報を入手した人物に対し、いかなる種類の種類の権利が許諾または割り当てられたり、譲渡されることはありません。

本書は、その全部または一部を転売することはできないものとします。

目次

一般情報	3
概要	3
関連文書	3
ご意見・ご要望	3
安全に関する重要な注意事項	3
Rack LCD Console の安全に関する注意事項	4
安全に関するその他の注意事項	5
納品物の受け取り	6
同梱部品	6
コンポーネント	6
正面	6
背面ビュー	8
設置	9
ブラケット	9
Rack LCD Console の設置	10
ケーブルの設置	10
Rack LCD Console の電源	10
操作	11
基本的な機能	11
Rack LCD Console を開く	11
Rack LCD Console を閉じる	11
電源オフと再起動	11
スタンバイモード	11
ホットプラグ	11
LCD OSD (On Screen Display) の設定	12
モニター設定	12
USB 周辺機器	12
ファームウェアアップグレードモード	13
アップグレードの開始	13
アップグレード成功	13
アップグレード失敗	13
ファームウェアアップグレードモードの終了	14
ファームウェアアップグレードのリカバリー	14
トラブルシューティング	15
仕様	16
保証	17
2 年間の工場保証	17
保証条件	17
譲渡不可の保証	17
適用除外	17
保証の請求	18
電波障害	18
米国 □—FCC	18
カナダ □—ICES	18
日本 □—VCCI	18
台湾 —BSMI	18
オーストラリアおよびニュージーランド	18
EU	19

イギリス	19
韓国 한국	19
世界のお客様に対応するサポート	20

一般情報

概要

Rack LCD Consoleは、ラック取付式のスライド型筐体に17インチまたは19インチLCDパネル、フルキーボード、タッチパッドを搭載しています。Rack LCD Consoleは、互換性のある対象機器（KVMスイッチまたはサーバー）での使用を想定しています。

関連文書

技術資料またはマニュアル最新版は www.apc.com からダウンロードできます。

ご意見・ご要望

www.apc.com/support にお問い合わせください。本書に関するご意見をお聞かせください。

安全に関する重要な注意事項

機器の設置、操作、修理または保守を行う前に取扱説明書をよく読み、機器についてよく理解しておいてください。本マニュアルまたはご使用の装置において、危険の可能性を警告したり手順をわかりやすくシンプルに伝える目的で、下記のメッセージが表示されることがあります。



このマークが「DANGER（危険）」または「WARNING（警告）」という安全ラベルに追加されている場合は、指示に従わず誤った取り扱いをすると、人身事故につながる感電の危険性があることを示しています。



これは安全アラートマークです。人身事故につながる危険性があることを注意喚起しています。。けがや死亡につながる事故を防ぐため、この表示に続くすべての安全メッセージに従ってください。

⚠ DANGER（危険）

DANGER は、回避しなければ 死亡事故や重傷を負う、差し迫った危険な状況を示しています。

⚠ WARNING（警告）

WARNING は、回避しなければ 死亡事故や重傷を負う可能性のある、潜在的に危険な状況を示しています。

⚠ CAUTION（注意）

CAUTION は、回避しなければ軽度もしくは中程度の傷害を負う可能性のある、潜在的に危険な状況を示しています。

NOTICE \$ 氢忽%

NOTICE は、環境への被害、損害の危険性、またはデータの損失など、身体的な損傷には関連しない注意事項を示します。

Rack LCD Console の安全に関する注意事項

統合アナログKVM（キーボード、ビデオ、モニタースイッチ）**Rack LCD**（液晶モニター）で作業する際は、下記の重要な安全に関する注意事項をよくお読みいただき、必ずそれに従ってください。下記の指示をすべてお読みください。すべての警告や指示に従ってください。すべての作業は、APC認定サービスエンジニアのみが実施するものとします。

⚠ ⚠ DANGER（危険）

感電、爆発、アーク放電の危険性

- 回路の過負荷は避けてください。通電する前に、製品マニュアルの電気仕様をご確認ください。
- 付属の電源コードまたはご利用の地域で許可されている電源コードのみを使用してください。
- 製品の定格ラベル要件に記載されている定格電圧および定格電流の最大値を超えてはなりません。
- 電源コードを、接続しやすい場所にある接地（アース）コンセントに差し込んでください。接地プラグを無効にしないでください。
- クラスⅠ装置。本装置では、必ずアースを使用してください。電源プラグは、正しく配線された設置端子付きコンセントに接続する必要があります。不適切に配線されたコンセントを使用すると、接触可能な金属部分に危険な電圧がかかる恐れがあります。
- 電源タップを含むすべての装置が、適切に接地されていることをご確認ください。
- AC インレットは本製品の主な切断装置です。
- 本製品の内部には、ユーザーが修理できる部品はありません。製品カバーは外さないでください。すべての修理は認定サービスエンジニアのみが実施するものとします。

これらの指示に従わない場合、死亡事故や重傷を負う可能性があります。

⚠ CAUTION（注意）

装置破損の危険性

- 「UPGRADE」のマークが付いた RJ-11 コネクタを公共の通信ネットワークに接続しないでください。
- 製品マニュアルで指定されている機器以外に接続すると、装置の故障につながる場合があります。
- 安全に操作を行うためには、風量が行き届いていることをご確認ください。過熱を避けるため、絶対に、製品筐体の 開口部を塞いだり、覆ったりしないようご注意ください。ラックの温度は 40°C 未満でなければなりません。
- 機械的な負荷が不均一になると、危険な状態になることがあります。
- 本製品を棚として利用しないでください。
- 破損を防ぐため、必ず付属の設置用器具のみを使用してください。

これらの指示に従わないと、けがや装置の損傷につながる恐れがあります。

NOTICE \$ 気忽%

- 水の近くで機器を使用しないでください。本機器の上にはいかなる種類の液体もこぼさないでください。
- クリーニングを行う前に、機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。液体や気体のクリーナーは使用しないでください。クリーニングには、湿らせた布をご使用ください。
- 急激な一過性の電力の増減から本システムを保護するには、サージ抑制器、ラインコンディショナ、または無停電電源装置（UPS）を使用して下さい。
- ラックで作業する前に、スタビライザーがラックに固定され、床まで伸びており、ラックの全重量が床にかかっていることをご確認ください。シングルラックの場合は前面スタビライザーおよび側面スタビライザー、複数のラックを連結する場合は前面スタビライザーを設置してから作業してください。
- システムケーブルおよび電源ケーブルは、ケーブルの上に何も乗らないように、注意して配置してください。
- 絶対に、キャビネットのスロットに物を押し込んだり、通したりしないでください。危険な電圧ポイントやショート部品に触れる可能性があり、火災や感電につながります。
- ラックは下から上に設置し、最も重量のある装置を最初に設置します。
- ラックから機器を引き出す前に、ラックが水平であり固定されていることをご確認ください。
- デバイスレールのリリースラッチを押して、ラックにデバイスをスライドさせるときは、スライドレールに指を挟まれないように注意してください。
- 機器をラックに挿入した後は、ロック位置までレールを延ばしてから機器をラック内にスライドさせます。
- ラックに電源を供給する AC 供給分岐回路が過負荷にならないようにして下さい。ラック全体の負荷は、分岐回路定格の 80% を超えてはなりません。
- 電源タップやその他の電子コネクタなど、ラックで使用するすべての装置が正しく接地されていることをご確認ください。
- ラック内の機器に適切な風量が行き届いていることをご確認ください。
- ラック環境での周辺動作温度が、製造元により装置に対して指定されている最高周辺温度を超えないようにして下さい。
- ラック内の機器の修理中に、ほかの機器を踏んだりその上に立ったりしないでください。
- レールに固定された装置を棚や作業台の代わりにしないでください。
- 電源コードは、踏んだり、足を引っ掛けたりすることのないように配線してください。

本装置は、米国電気工事規程の第645条およびNFPA 75に準拠し、情報技術室への設置条件に適合しています。

安全に関するその他の注意事項

はじめる前に: システムに短絡や接地がないことをご確認ください。ただし、接地が現地の規制（例えば米国電気工事基準）により行われている場合はこの限りではありません。高電圧試験が必要な場合は、偶発的な機器の損傷を防ぐため、装置のマニュアルに記載されている推奨事項に従ってください。

通電する前に:

- 装置から、ツール類、測定機器類、およびゴミを取り除きます。
- 装置のラックドアを閉じます。
- 製造元が推奨するすべてのスタートアップテストを実行します。

操作および調整: 下記の注意事項は、NEMA規格文書 ICS 7.1-195（英語版優先）より引用しています:

- 装置の設計・製造や部品の選定・定格に細心の注意を払ったとしても、不適切な運用を行うと、危険が生じることがあります。
- 装置の調整を誤ることで、満足のいかない動作や安全でない動作をすることがあります。機能的な調整のガイドとして、常に製造元の説明書を参考にしてください。これらの調整にアクセスできる人員は、装置製造元の手順書および電気装置で使用する機械に精通している必要があります。
- オペレーターが実際に必要とする操作上の調整のみ、アクセスできるようにする必要があります。無許可で動作特性を変更されることを防止するため、その他の制御装置へのアクセスを制限する必要があります。

納品物の受け取り

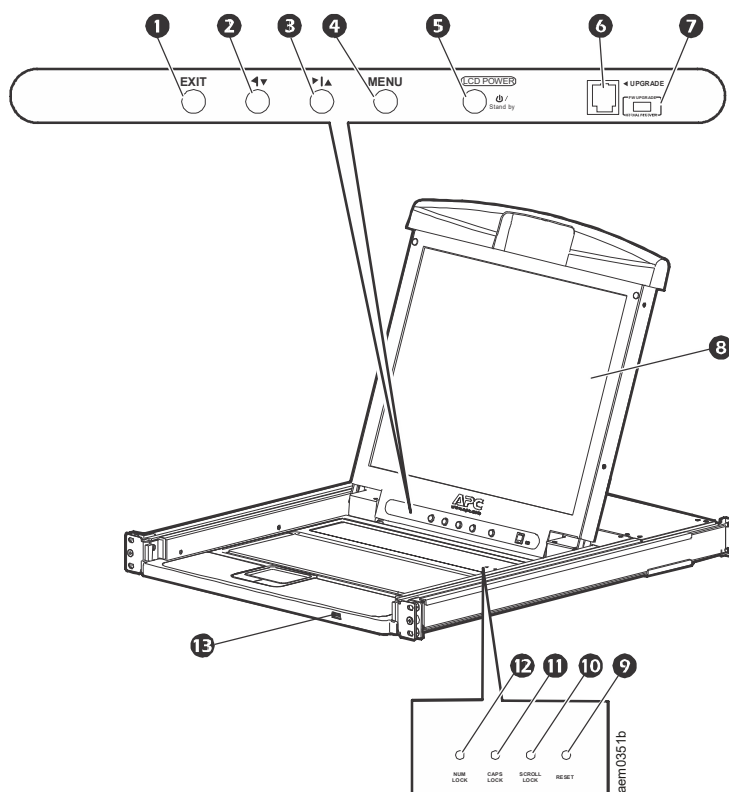
配達時にコンポーネントを確認し、すべての部品がそろっていること、また正常に動作することをご確認ください。不足していたり損傷が見られる場合は、直ちに運送会社とAPCに連絡してください。

同梱部品

説明	数量
簡単に設置できるラック固定設置キット	1
取付ネジ	4
カスタム通信ケーブルセット - USB ケーブル、長さ 6 フィート。(1) - PS2 ケーブル、長さ 6 フィート。(1)	2
C13 - C14 電源コード	1
NEMA 5 - 15 電源コード	1
ファームウェアアップグレードケーブル	1
USB ケーブル	1
Rack LCD Console	1
文書キット 内容: - クイックスタートガイド - China ROHS	1

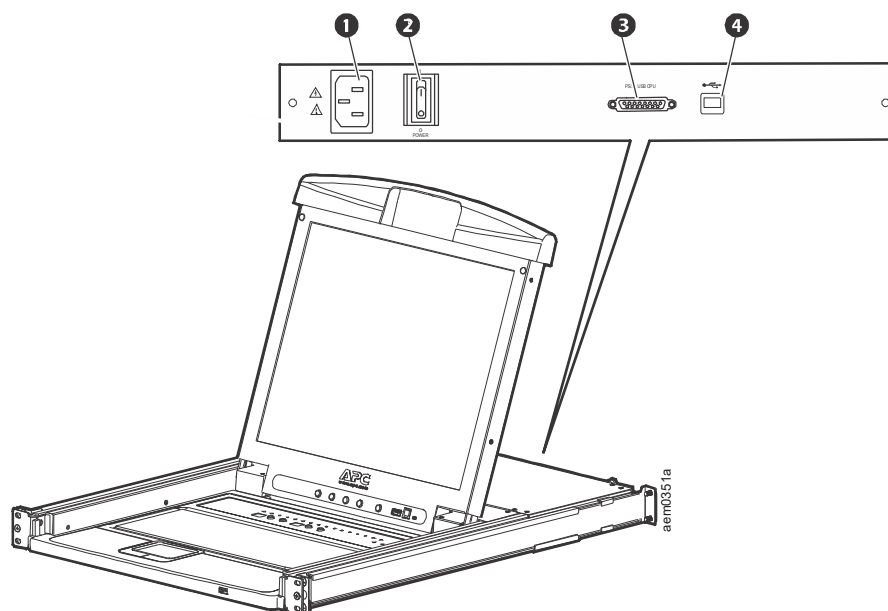
コンポーネント

正面



品目番号	コンポーネント	説明
①	EXIT (終了) ボタン	<p>1. OSD (On Screen Display) を開けずに EXIT ボタンを押すと、自動調整が始まり、モニターのすべての設定が OSD の最適な表示値に再設定されます。</p> <p>2. OSD ユーザーインターフェース利用中の場合は、EXIT ボタンを押すことで現在のメニューを終了して前のメニューに戻ったり、調整終了時に調整画面を終了することができます。</p> <p>3. メインメニュー画面で EXIT ボタンを押すと、OSD が終了します。</p>
②	◀/▼ ボタン	このボタンを押してメニューの左または下に移動し、調整の際に値を下げます。
③	▶/▲ ボタン	このボタンを押して、メニューを右や上へ移動したり、調整の際に値を上げます。
④	MENU (メニュー) ボタン	<p>1. OSD ユーザーインターフェースを開いていない場合、MENU ボタンを押すと、OSD が起動し、メインメニューが開きます。</p> <p>2. OSD ユーザーインターフェースを利用中に設定の選択で MENU ボタンを押すと、設定の調整画面が表示されます。</p>
⑤	LCD POWER (LCP 電源) ボタン	LCD モニターの電源をオンにします。モニターがスタンバイ (節電) モードのときは、スイッチ横の LED ライトが光ります。
⑥	UPGRADE (アップグレード) ポート	管理者サーバーから Rack LCD Console にファームウェアアップグレードを転送するために使用される RJ-11 ポートです。
⑦	FW UPGRADE NORMAL / RECOVERY (FM アップグレード ノーマル / リカバリー)	Rack LCD Console が通常運転の間は、ファームウェアアップグレードスイッチを「NORMAL」(ノーマル) の位置に設定します。ファームウェアアップグレードリカバリーを実行する場合のみスイッチを「RECOVERY」の位置に設定します (詳しくはページ 14 の「ファームウェアアップグレードのリカバリー」 「ファームウェアアップグレードリカバリー」 12 ページを参照。)
⑧	LCD モニター	Rack LCD Console の LCD ディスプレイモニターです。
⑨	RESET (リセット) スイッチ	この凹んでいるスイッチを小さなもの (ペン先など) で押し込むとシステムリセットが実行されます。
⑩	SCROLL LOCK LED (スクロールロック LED)	SCROLL LOCK LED が光っている場合は、キーボードのスクロールロック機能が有効であることを示します。
⑪	CAPS LOCK LED	CAPS LOCK LED が光っている場合は、キーボードの Caps Lock 機能が有効であることを示します。
⑫	NUM LOCK LED	NUM LOCK LED が光っている場合は、キーボードの Num Lock 機能が有効であることを示します。
⑬	USB ポート	Rack LCD Console の前面にある USB ポートは、周辺機器 (Flash ドライブ、CD-ROM ドライブ、マウス) に接続し、Rack LCD Console を経由して対象機器 (KVM スイッチまたはサーバー) に渡すために使用します。

背面ビュー

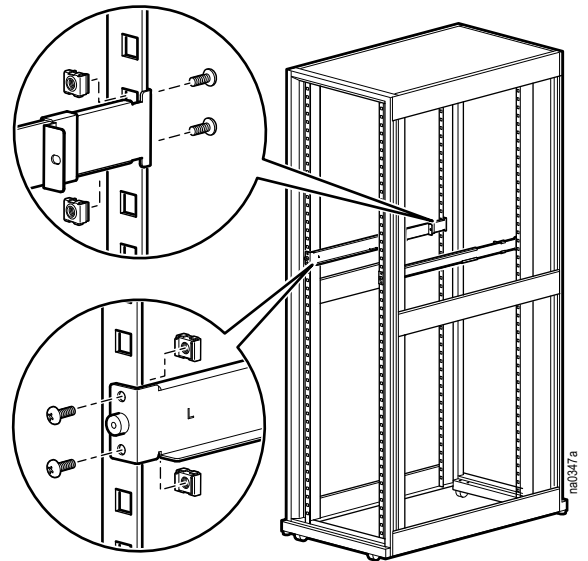


品目番号	コンポーネント	説明
①	電源ソケット	標準 3 極 AC 電源ソケット。
②	電源スイッチ	標準の ON/OFF ロックースイッチ
③	カスタム通信ポート	付属のカスタム通信ケーブル（PS2 または USB）を使って Rack LCD Console を対象機器と接続するためのポート（KVM スイッチまたはサーバー）です。
④	USB ポート	Rack LCD Console の前面にある USB ポートからの USB パススルーです。

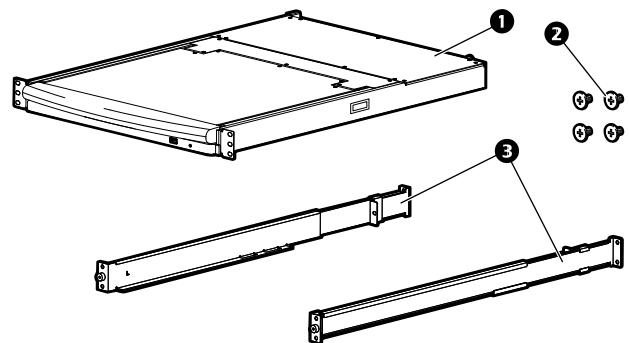
設置 ブラケット

Rack LCD Consoleへのラック設置用として提供されたハードウェアのみを使用してください。

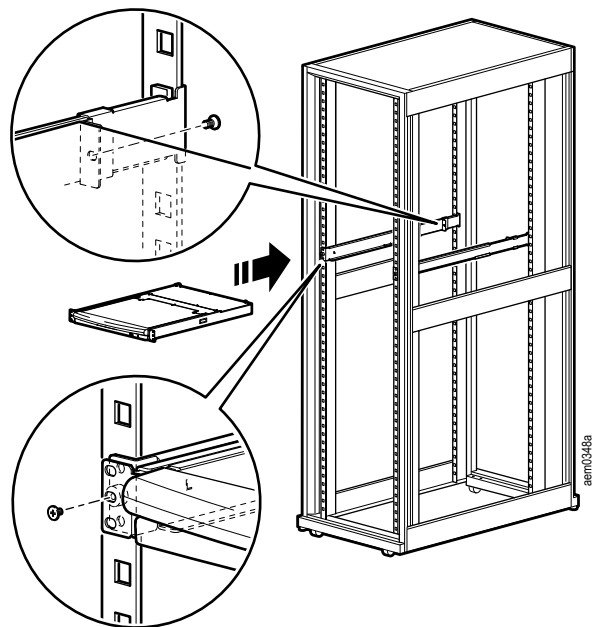
1. ラックの内側にある左右のマウントレールに取り付けます。Rack LCD Console ステーションを支えるフランジが内側になります。
 - 最初に前部フランジをラックにネジで取り付けます。
2. 後部フランジがラックに接触するまで、後部フランジの付いたバーをラックに向けてスライドさせます。次に、後部フランジをラックにネジで取り付けます。



3. Rack LCD Console (①) をサポートフランジ (③) にスライドさせます。付属の M4 x 6 ネジ (②) を使って、Rack LCD Console の前部をラックの前部にゆるく取り付けます。
 - この時点では、ネジは完全に締めないでください。



4. 後部アタッチメントのスライドブラケットを Rack LCD Console の後部に触れるまでスライドバーにスライドさせます。付属の M4 x 6 ネジを使って、バーを Rack LCD Console スイッチの後部に取り付けます。ネジを完全に締めます。
5. Rack LCD Console を 2 ~ 3 回開け閉めし、スムーズに操作できることを確認します。
6. Rack LCD Console が正しくブラケット内で動くようであれば、ステップ 3 で締めたネジを完全に締めます。



Rack LCD Consoleの設置

⚠ ⚠ DANGER (危険)

感電、爆発、アーク放電の危険性

- 回路の過負荷は避けてください。通電する前に、製品マニュアルの電気仕様をご確認ください。
- 付属の電源コードまたはご利用の地域で許可されている電源コードのみを使用してください。
- 製品の定格ラベル要件に記載されている定格電圧および定格電流の最大値を超えてはなりません。
- 電源コードを、接続しやすい場所にある接地（アース）コンセントに差し込んでください。接地プラグを無効にしないでください。
- 電源タップを含むすべての装置が、適切に接地されていることをご確認ください。

これらの指示に従わない場合、死亡事故や重傷を負う可能性があります。

ケーブルの設置

2本ある付属のカスタム通信ケーブル（PS2またはUSB）のうち1本を使って、対象機器（KVMスイッチまたはサーバー）をRack LCD Console後方のカスタム通信ポートに接続します。キーボード、モニター、マウスのコネクタを対象機器（KVMスイッチまたはサーバー）のポートに差し込みます。

注意: Rack LCD Consoleと対象機器（KVMスイッチまたはサーバー）の間の最大距離は10m（32.8フィート）です。

Rack LCD Consoleの電源

1. 電源コードを Rack LCD Console の電源ソケットと AC 電源コンセントに差し込みます。
2. Rack LCD Console の電源をオンにします。Rack LCD Console の後方にある ON/OFF 切り替えスイッチの場所については、ページ 8 の “電源スイッチ” を参照してください。

操作

基本的な機能

注意: 本製品は個人情報の表示を目的としたものではありません。

Rack LCD Consoleを開く

⚠ CAUTION (注意)

誤使用による危険

- 絶対に、機器に寄りかからないでください。
- スライドレールに固定された装置を棚や作業台として使用しないでください。機器に物を乗せないでください。

これらの指示に従わないと、けがや装置の損傷につながる恐れがあります。

コンソールにアクセスするには、Rack LCD Consoleをラックから引き出し、カバーを上げてください。

Rack LCD Consoleを閉じる

カバーを閉じて、Rack LCD Consoleをラックにスライドして戻します。

電源オフと再起動

背面パネルの電源スイッチで、Rack LCDの電源をオフにします。ON/OFFスイッチの場所については、ページ 8 の “電源スイッチ” を参照してください。

Rack LCDを再起動するには、背面パネルの電源スイッチをオンにします。

スタンバイモード

カバーを閉じているときは、節電のため、Rack LCDがスタンバイモードになります。カバーが完全に閉じる状態からの角度が15度になった時点で、ディスプレイの電源がオフになります。電源は入ったままですが、モニターディスプレイの電源がオフになります。

ホットプラグ

ケーブルを抜いてRack LCD Consoleコンポーネントを取り外したり、取り付けたりする際に、シャットダウンする必要はありません。

LCD OSD (On Screen Display) の設定

ボタン	機能
MENU (メニュー)	1. 開始: MENU ボタンを押すと、LCD OSD が開始し、メインメニューが表示されます。 2.OSD ユーザーインターフェースを利用中に設定の選択で MENU ボタンを押すと、設定調整画面が表示されます。
▶/▲ ボタン	▶/▲ ボタンをクリックすると、メニューのカーソルが右または上に移動します。また、調節時には値を増加させます。
◀/▼ ボタン	◀/▼ ボタンをクリックすると、メニューのカーソルが左または下へ移動します。また、調節時には値を減少させます。
EXIT (終了)	1. LCD OSD ユーザーインターフェースが開始されていない場合は、EXIT ボタンを押すと、ディスプレイの設定をデフォルトに戻す自動調整が開始されます。 2.LCD OSD を使用中の場合は、EXIT ボタンを押すと、現在のメニューを終了して前のメニューに戻ります。調整メニューを終了するには、調整終了時に EXIT ボタンを押します。 3. メインメニュー画面から EXIT ボタンを押すと、LCD OSD が終了します。

モニター設定

設定	説明
Brightness (明るさ)	画面の明るさレベルを調整します。
Contrast (コントラスト)	前景色と背景色間の色差レベルを調整します。
Phase (位相)	画面の位相設定を調整して、水平の暗い帯が見えないようにします。
Clock (クロック)	画面のクロック設定を調整して、垂直の暗い帯が見えないようにします。
H-Position (水平位置)	表示領域を左右に移動します。
V-Position (垂直位置)	表示領域を上下に移動します。
Color Hue (カラーヒュー)	ディスプレイの色品質を調節します。 Adjust Color (色の調整) の選択肢には、RGB 値を細かく調整できるサブメニューがあります。
Language (言語)	OSD ディスプレイメニューの表示言語を選択します。
OSD Duration (OSD 期間)	無操作状態から画面表示 (OSD) をシャットダウンするまでの秒数を調整します。
Reset (リセット)	すべてのメニューとサブメニュー (言語設定を除く) を工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。

注意: 自動調整機能の詳細については、ページ 12 の “EXIT (終了)” を参照してください。

USB周辺機器

正面パネルのUSBポートを利用してUSB周辺機器 (Flashドライブ、CD-ROMドライブ、マウス等) を接続し、Rack LCD Consoleの背面パネルのパススルーUSBポートを使って対象機器 (KVMスイッチまたはサーバー) に接続するきます。

正面パネルのUSBポートは、USB周辺機器の挿入時に認識します。そのポートでマウスを使用する場合は、ホットキーの組み合わせ [Ctrl+Enter] を使用してポートをリセットし、マウスを認識させます。

ファームウェアアップグレードモード

www.apc.comを定期的にチェックして、最新情報とファームウェアアップグレードパッケージをご確認ください。

注意:「UPGRADE」のマークが付いたRJ-11ポートを公共の通信ネットワークに接続しないでください。

アップグレードの開始

ファームウェアアップグレードパッケージのダウンロード方法:

1. Rack LCD Console の電源をオフにします。
2. ファームウェアスイッチを RECOVER (リカバー) にします。
3. Rack LCD Console の電源を入れます。
注意: Rack LCD Console がファームウェアアップグレードモードの場合、Num Lock、Caps Lock、Scroll Lock の LED が継続的に点滅します。
4. ファームウェアアップグレードケーブル (付属) をインストール先以外のコンピュータの COM ポート (Rack LCD Console のファームウェアアップグレードポート) に接続します。コンピュータから www.apc.com を開き、Rack LCD Console のモデル名を入力して、利用可能なファームウェアアップグレードパッケージのリストを表示します。
5. ファイルのアイコンをダブルクリックするか、コマンドラインを開いてフルパスとファイル名を入力し、コンピュータからダウンロードを実行します。
6. ファームウェアアップグレードユーティリティのようこそ画面が表示されます。
7. 使用許諾の内容を読み、**I Agree (同意する)** ボタンをクリックしてそれに同意します。
8. ファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面が表示されます。ユーティリティがインストール環境を点検します。パッケージでアップグレード可能なすべての機器が、**Device List (デバイスリスト)** パネルに一覧で表示されます。
9. **Next (次へ)** をクリックしてアップグレードを実行します。
ファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面で **Check Firmware Version** (ファームウェアのバージョンをチェックする) ボックスを選択している場合、ユーティリティにより、機器のファームウェアレベルがアップグレードファイルと比較されます。機器のバージョンがアップグレードのバージョンより新しい場合は、ダイアログボックスが開き、アップグレードを続行または中止する選択肢が表示されます。**Check Firmware Version** ボックスにチェックを入れていない場合、ユーティリティでは、バージョンが新しいかを確認せずにアップグレードファイルをインストールします。
10. Status Messages (**ステータスメッセージ**) パネルに**ステータスメッセージが表示され**、アップグレードの完了までの進行状況が進捗バーに表示されます。

アップグレード成功

アップグレードが完了すると、処理が成功したことを巣雌 **UPGRADE SUCCEEDED** (アップグレード成功) 画面が表示されます。**Finish (終了)** をクリックしてファームウェアアップグレードユーティリティを閉じます。

アップグレード失敗

アップグレードに失敗すると、**UPGRADE FAILED** (アップグレード失敗) 画面が表示されます。

ファームウェアアップグレードモードの終了

1. ファームウェアアップグレードリカバリースイッチをスライドして「Normal（ノーマル）」の位置にします。
2. Rack LCD Console のファームウェアアップグレードポートからファームウェアアップグレードケーブルを外します。
3. Rack LCD Console の電源をオフにしてから、電源をオンにします。

ファームウェアアップグレードのリカバリー

ファームウェアアップグレードのリカバリーが必要となる状況は下記の3つです：

- Rack LCD Console のファームウェアが破損して動作不能になった場合。
- ファームウェアアップグレードが中断された場合。
- ファームウェアアップグレードが失敗した場合。

ファームウェアアップグレードのリカバリーを実行するには、以下の手順に従います：

1. Rack LCD Console の電源をオフにします。Rack LCD Console を対象機器から外します。
2. ファームウェアアップグレードケーブルを、ファームウェアアップグレードポートとインストール先以外のコンピュータの COM ポートに接続します。
3. ファームウェアアップグレードリカバリースイッチをスライドして「Recover（リカバリー）」の位置にします。スイッチの位置については、ページ 7 の “FW UPGRADE NORMAL / RECOVERY（FM アップグレード ノーマル / リカバリー）” を参照してください。
4. Rack LCD Console へ電力を供給し、アップグレード手順を繰り返します。詳しくは、ページ 13 の “アップグレードの開始” を参照してください。
5. アップグレードが正常に完了したら、Rack LCD Console への電力を遮断します。ファームウェアリカバリーケーブルをコンピューターから接続解除します。ファームウェアアップグレードリカバリースイッチ スライドして「Normal（ノーマル）」の位置にします。詳しくは、ページ 7 の “FW UPGRADE NORMAL / RECOVERY（FM アップグレード ノーマル / リカバリー）” を参照してください。
6. Rack LCD Console の電源をオンにします。
7. Rack LCD Console を対象機器にもう一度接続します。

トラブルシューティング

症状	アクション
外部モニターにゴーストが映ります	外部コンソールと Rack LCD との距離が遠すぎます。VGA ケーブルの最長距離は 20m（65.6 フィート）を超えてはならず、場合によっては、それより短くしなければならない場合があります。VGA ケーブルを適切な長さの短いものと交換してください。
キーボードから入力された文字の一部が正しく表示されません。	ポートのキーボードレイアウト設定が、使用しているキーボードと一致していません。スイッチで、ポートのキーボードレイアウト設定を変更し、使用中のキーボードと一致させてください。
対象機器（KVM スイッチまたはサーバー）の電源が入らない、もしくは反応がありません。	すべてのケーブルがしっかりとソケットに差し込まれていることをご確認ください。
不規則な動作	ファームウェアを更新してください。詳しくは、ページ 13 の “ファームウェアアップグレードモード” を参照してください。

仕様

機能		AP5717、CH、F、G、J、R、UK	AP5719
サーバー接続		1	
コネクタ	通信ポート	1 x SPHD-18 (メス) 黄色	
	外部マウス	1 x USB Type A (メス) 黒	
	ファームウェアアップグレードポート	1 x RJ-11	
	電源	1 x 3 極 AC ソケット	
	USB 1.1 ハブ	1 x USB Type-A (メス)	
	USB 1.1 パススルー	1 x USB Type-B (メス)	
スイッチ	Reset (リセット)	1 x 半凹型プッシュボタン	
	電源	1 x ロッカースイッチ	
	ファームウェアアップグレード	1 x スイッチ	
	LCD 調整	4 x プッシュボタン	
	LCD 電源 ON/OFF	1 x LED プッシュボタン (オレンジ)	
LED	LCD 電源 ON/OFF	1 (オレンジ)	
	電源	1 (青)	
	Num Lock	1 (緑)	
	Caps Lock	1 (緑)	
	Scroll Lock	1 (緑)	
エミュレーション	キーボード / マウス	PS/2、USB	
ビデオ	最大解像度	1280 x 1024 @ 75 Hz、DDC2B	
		1280 x 1024 @ 60 Hz	
		1024 x 768 @ 75 Hz	
		1024 x 768 @ 70 Hz	
		1024 x 768 @ 65 Hz	
		800 x 600 @ 75 Hz	
		800 x 600 @ 72 Hz	
		800 x 600 @ 60 Hz	
		720 x 400 @ 60 Hz	
		640 x 480 @ 75 Hz	
		640 x 480 @ 72 Hz	
	最低解像度	640 x 480 @ 60 Hz	
I/P 定格		100 - 240 VAC, 50/60 Hz、1 A	
電力消費量		18.5W	
環境	動作温度	0 ~ 40°C (32°F ~ 104°F)	
	保管温度	-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)	
	湿度	0 ~ 80% RH、結露なし	
物理特性	筐体	金属およびプラスチック	
	重量	15.90Kg	17.40Kg
	寸法 (奥行 x 幅 x 高さ)	61.40 x 48.20 x 4.40Cm	66.50 x 48.20 x 4.40Cm

保証

2年間の工場保証

本保証は、ご購入いただいた製品に対し、本マニュアルに準拠して使用した場合にのみ適用されます。

保証条件

Schneider Electricは、お客様のご購入日から2年間、製品に原材料や作業工程の欠陥がないことを保証します。Schneider Electricは、本保証の対象製品の欠陥に関し、修理または交換するものとします。その他の損害（事故、過失、操作誤り、または装置の改造などによる損傷）に対しては、この保証はいっさい適用されません。本書に定める不具合のある製品またはその部品の修理または交換は、元の保証期間を延長するものではありません。本保証下で供給される部品は、新品または工場で作られたものである場合があります。

譲渡不可の保証

本保証は、本製品を正規登録した最初の購入者にのみ適用されます。製品は、Schneider Electricのウェブサイト：www.apc.comからご登録いただくことができます。

適用除外

申し立てられた製品の欠陥が、Schneider Electricが実施する試験または検査の結果存在しないことが判明した場合、あるいはお客様または第三者の誤用、過失、不適切な設置、試験によるものであることが判明した場合、Schneider Electricは、本保証に基づく責任を負わないものとします。さらに、Schneider Electricは、欠陥が承認されていない修理または変更の試み、電源電圧または接続の誤用または不適合、不適切な実地運転環境、侵食性の外気、外環境への被曝、不可抗力、火災、盗難、またはSchneider Electric推奨/指定の方法に反する設置によるものである場合、Schneider Electricシリアル番号が改竄、摩損、消去された場合、あるいは意図された使用の範囲を超えるその他の原因によるものである場合、Schneider Electricは、本保証に基づく責任を負わないものとします。

本契約に基づき、または本書に記載された条件に同意に基づき購入、サービス提供、または設置された製品に対し、明示的または黙示的を問わず、法律の運用その他により適用される保証事項はありません。SCHNEIDER ELECTRICは、製品の市場性、満足度、特定の目的に対する適合性に関する黙示的な保証について、一切の責任を負わないものとします。Schneider Electricの明示的な保証が拡大、縮小、または影響を受けることはなく、本製品に関してSchneider Electricが提供する技術面その他のアドバイスまたはサービスからはいかなる義務または責務も派生しないものとします。以上の保証および救済は排他的なものであり、その他の保証や賠償すべてに優先されます。上記に記載の保証は、当該保証のあらゆる不履行に対するSchneider Electricの唯一の責務であり、購入者の法的救済手段です。Schneider Electricの保証は、購入者のみに適用され、いかなる第三者にも拡大適用されません。

いかなる場合も、製品の使用、サービス、または設置から生じたいかなる間接的、特別、結果的、懲罰的損害についても、その損害が契約の記述または不法行為のあるなしを問わず、過失または怠慢、厳格責任に関係なく、SCHNEIDER ELECTRICが事前にそのような損害の可能性を通知したかどうかに関わらず、SCHNEIDER ELECTRIC、同社幹部、取締役、支社、従業員はその責任を負わないものとします。特に、SCHNEIDER ELECTRICは、利益の損失、設備の損傷、装置の使用不能による損失、ソフトウェアの喪失、データ喪失、代替費用、第三者の主張など、いかなる損害に対しても責任を負いません。

SCHNEIDER ELECTRICのセールス担当者、従業員、または代理店のいかなる者も、本保証の条件を追加したり、変更したりする権限を持ちません。保証の条件は、たとえ変更される場合も、Schneider Electricの役員と法務部の署名により書面によってのみ変更可能です。

保証の請求

保証の請求については、Schneider Electricウェブサイトの「サポート」ページ（www.apc.com/support）から、Schneider Electricカスタマーサポートまでご連絡ください。ウェブページの一番上にある国選択プルダウンメニューからご自身の国を選んでください。ご利用地域のカスタマーサポート窓口の情報を入手するには、[Support（サポート）] タブを選択してください。

電波障害

責任のある機関によって明示的な承認を受けずに本装置を改変すると、本製品の利用権利が取り消される可能性があります。

米国—FCC

本装置は、FCC規則パート15のクラスA デジタル機器基準に準拠しています。これらの基準は、装置を商用環境で運用する際に、有害な干渉から保護することを目的に策定されています。本装置は、無線周波を生成、使用、および放射しています。この設置ガイドに従って適切に設置および使用しなければ、無線通信に有害な干渉を及ぼす可能性があります。本装置を住宅地域で使用する場合、有害な干渉を起こす可能性があります。その場合、ユーザーは、自身の費用負担でそのような干渉を正す必要があります。

カナダ—ICES

このクラスAデジタル器具類は、カナダのICES003に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

日本—VCCI

本機器は、クラスA機器です。家庭環境で本機器を使用すると、電波障害を引き起こす恐れがあります。その場合、使用者は適切な対策を講じる必要があります。

この装置は、クラスA装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

台湾—BSMI

警告使用者:
這是甲類的資訊產品, 在居住的
環境中使用時, 可能會造成射頻
干擾, 在這種情況下, 使用者會
被要求採取某些適當的對策。

オーストラリアおよびニュージーランド

注意: これはクラスA製品です。この製品は住宅地で電波障害を引き起こす恐れがあります。このような場合、ユーザは適切な対応を求められる可能性があります。

EU

本製品は、電磁両立性に関する加盟国の法律の調和に関する2014年2月26日の欧州議会および理事会のEU指令2014/30/EUで規定された電磁両立性（EMC）の要件に適合しています。

本装置は、CISPR 32/EN55032:2015/A11:2020 エミッションおよび EN 55035:2017/A11:2020 イミュニティに基づくクラスA情報技術装置の制限に準拠していることが試験により確認されています。

注意：これはクラスA製品です。この製品は住宅地で電波障害を引き起こす恐れがあります。このような場合、使用者は適切な対応を求められる可能性があります。

イギリス

本製品は、2021年1月1日から英国内または英国に供給される製品に適用される英国法「Electromagnetic Compatibility Regulations 2016」に適合しています。

本装置は、CISPR 32/BS EN 55032:2015エミッションおよびBS EN 55035:2017/A11:2020 イミュニティに基づくクラスA情報技術装置の制限に準拠していることが試験により確認されています。

注意：これはクラスA製品です。この製品は住宅地で電波障害を引き起こす恐れがあります。このような場合、使用者は適切な対応を求められる可能性があります。

韓国 한국

A급 기기(업무용 방송통신기기). 이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합등록을 한 기기이오니 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.

世界のお客様に対応するサポート

本製品のカスタマーサポートについては、**www.apc.com** にてご利用いただけます。

APC

70 Mechanic Street
Foxboro, MA 02035
USA

www.apc.com

規格、仕様、および設計は変更される可能性があるため、本書の内容の確認についてはお問い合わせください。

© 2020–2022 Schneider Electric. APC および APC のロゴは、Schneider Electric SE またはその子会社が所有する商標です。その他のブランドは、すべて、それぞれの所有者の商標です。

990-3863F-018